

神奈川県 横浜市

業務名	業種・事業名	自己資本構成比率 (%)	水力発電所数
法非適用	電気事業	該当数値なし	-
ごみ発電所数	風力発電所数	太陽光発電所数	その他発電所数
-	1	-	-
料金契約終了年月日	F I T適用終了年月日	電力小売事業実施の有無	売電先
平成30年3月31日 横浜市風力発電所	平成39年8月12日 横浜市風力発電所	無	日本テクノ株式会社
地産地消エネルギーへの寄与度 (%) ※1			
-			

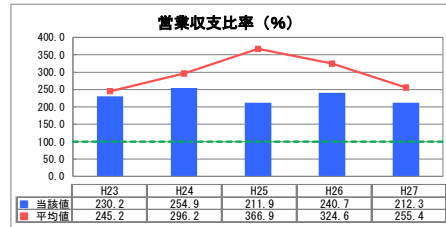
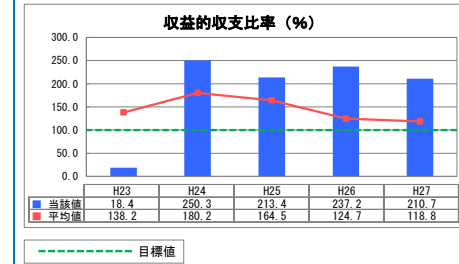
※1 行政区域内の需要家に小売されたことが客観的に明らかであるものを計上。なお、この基本情報をもって全ての地産地消エネルギーへの取り組みを評価するものではない。

年間発電電力量 (MWh)	H23	H24	H25	H26	H27
水力発電	-	-	-	-	-
ごみ発電	-	-	-	-	-
風力発電	2,183	2,055	2,172	2,174	1,800
太陽光発電	-	-	-	-	-
合計	2,183	2,055	2,172	2,174	1,800

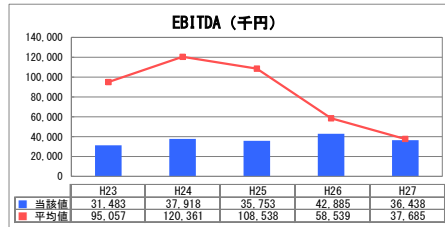
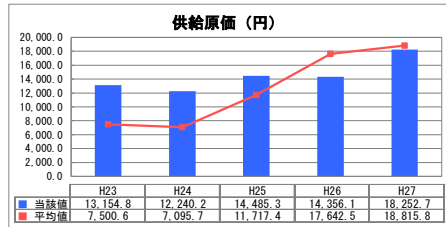
	F I T以外	F I T	合計
年間電灯電力量収入 (千円)	21,809	2,253	24,062

●電気事業全体

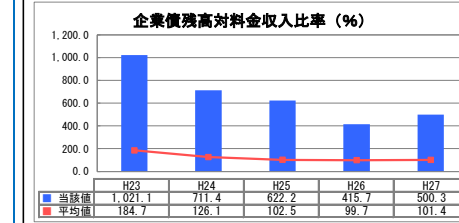
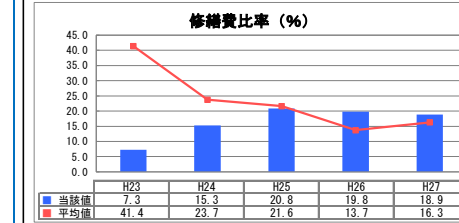
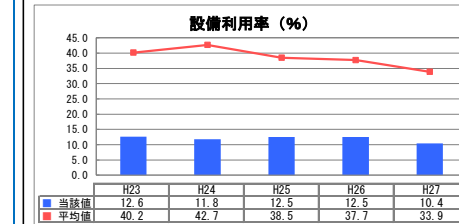
1. 経営の状況



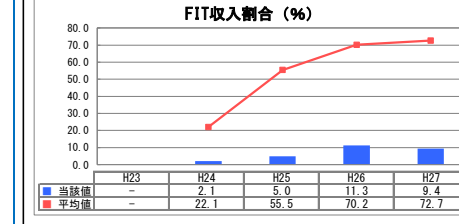
流動比率 (%)
該当数値なし



○ 施設全体 (最大出力合計1,980kW)



有形固定資産減価償却率 (%)
該当数値なし



●発電型式別

2. 経営のリスク

○ 水力発電 (最大出力合計-kW)

設備利用率 (%)
該当数値なし

修繕費比率 (%)
該当数値なし

企業債務高対料金収入比率 (%)
該当数値なし

有形固定資産減価償却率 (%)
該当数値なし

FIT収入割合 (%)
該当数値なし

○ ごみ発電 (最大出力合計-kW)

設備利用率 (%)
該当数値なし

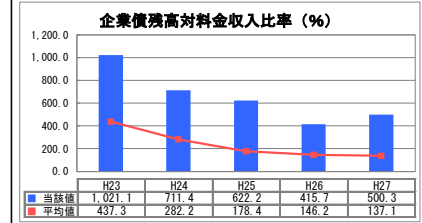
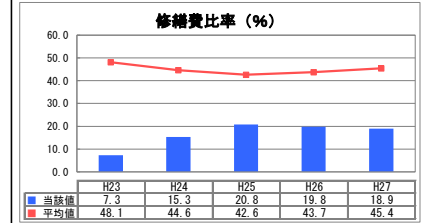
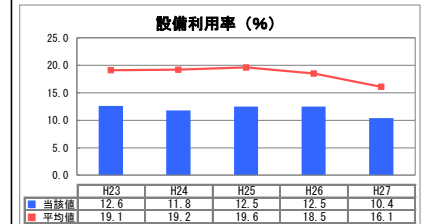
修繕費比率 (%)
該当数値なし

企業債務高対料金収入比率 (%)
該当数値なし

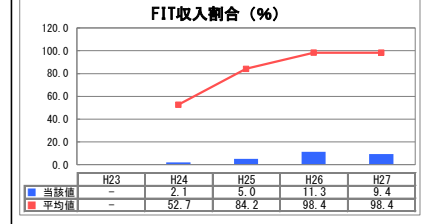
有形固定資産減価償却率 (%)
該当数値なし

FIT収入割合 (%)
該当数値なし

○ 風力発電 (最大出力合計1,980kW)



有形固定資産減価償却率 (%)
該当数値なし



○ 太陽光発電 (最大出力合計-kW)

設備利用率 (%)
該当数値なし

修繕費比率 (%)
該当数値なし

企業債務高対料金収入比率 (%)
該当数値なし

有形固定資産減価償却率 (%)
該当数値なし

FIT収入割合 (%)
該当数値なし

※ 平成23年度から平成27年度における各指標の全国平均値は、当時の団体数を基に算出していますが、設備利用率及び修繕費比率、企業債務高対料金収入比率、FIT収入割合については、平成27年度の団体数を基に平均値を算出しています。

経営比較分析表

剰余金の使用について (具体的な使用実績事業を記入してください)	
剰余金 77,862千円	
今後、設備の老朽化への対応や設備更新に充当することを検討していきます。	

分析欄

1. 経営の状況について
本施設は、都市立地型の風力発電所として、再生可能エネルギー普及啓発のシンボリック事業として運営をしています。また、風力発電という性質上、収益の安定性が風況等の環境的要因により左右されます。そのような状況において、適切に設備の維持管理を行い、概ね安定した事業運営ができていますものと考えられます。

①収益的収支比率は、100%以上を維持しており、健全な事業運営を行っています。なお23年度は建設費にあてた市債を満期一括償還したため、比率が低くなっています。

②営業収支比率は、100%以上を維持しており、健全な事業運営を行っています。

③供給原価は、27年度は修繕等の実施により上昇しました。機器の老朽化等もふまえ、引き続き計画的に維持管理を行っていく必要があります。

④EBITDA(減価償却前営業利益)は、環境的要因による発電収入の変動の影響等があるものの、概ね安定して推移している傾向にあります。

2. 経営のリスクについて

①設備利用率について、本施設は都市立地型の発電所であり、平均的な風力発電所よりも風況には恵まれておらず設備利用率は低めですが、安定的に稼働しています。

②修繕費比率について、概ね20%前後で安定的に推移しています。

③本事業では28年度に市債を一括償還したため、現在の企業債務高対料金収入比率は0%になっています。

④FIT収入割合について、本事業では主に企業協賛収入と発電収入により運営を行っているため、FIT収入割合は低くなっています。

全体総括

都市立地型の風力発電所としては、協賛企業との連携により、経営状況は概ね健全な状態であるとされます。今後も、適正に維持管理を行い安定した経営を進めるとともに、再生可能エネルギーの普及啓発のため、事業運営に取り組んでまいります。(平成32年度を目処に経営戦略を策定予定)